

第2回 学校運営協議会・いじめ対策委員会報告

1 日時 令和5年10月5日(木) 10:30~12:05

2 場所 応接室

3 出席者

榎原 靖之 様	大宮北小学校チャレンジスクール実行委員長 大宮北小学校学校運営協議会 会長
波多野 裕 様	青少年育成さいたま市民会議氷川地区会会長 大宮北小学校学校運営協議会 副会長
吉田 弘一 様	さいたま市立大宮北公民館長
小川 武子 様	大宮交通安全協会副会長
押田 香織 様	大宮北部地区主任児童委員
小林 正美 様	さいたま市立大宮北中学校長
福田 雄亮 様	大宮北小学校 PTA 会長
一色 秀哉 様	大宮北小学校ダディーズクラブ
大槌枝里子 様	大宮北小学校 PTA 副会長
森田 舞 様	大宮北小学校 PTA 副会長
渡辺 明	大宮北小学校校長
松井 健	大宮北小学校教頭
木村 元基	大宮北小学校教務主任
菊地 豊	大宮北小学校学校地域連携コーディネーター

4 司会 教頭

5 議事

(1) 校長あいさつ、会長あいさつ

(2) 学校運営協議会

①令和5年度 上半期の取組について

- ・グランドデザイン ・コミュニティ・スクール
- ・よさを見つけ、認め、伸ばすことで、児童一人ひとりが達成感を味わえる教育活動の展開
- ・安心・安全で美しく整えられた教育環境づくりと、セーフコミュニティの取組を通じた「自助・共助」の意識の育成
- ・コミュニティ・スクールの取組を通じて、学校・家庭・地域の連携を深め、「オール大宮北小」の具現化
- ・教師の指導力の向上を図り、「アクティブ・ラーニング」の視点で、学び方が身に付く教育実践
- ・運動会、3校親善球技大会、校外学習、ミュージックフェスティバルの実施
- ・地域との連携
- ・保育園・幼稚園との連携
- ・今後の主な教育活動について

(3) 学校自己評価について

(4) 熟議「目指す学校像と地域像について」 ～大宮北小・コミスクプラン～

- ・地区ごとの子ども会の設置状況はどのようになっているのか。
→ 子ども会の数は減ってきているのではないか。
- ・外国人の居住者も増えてきているので、交流の機会がつけるとよい。
- ・あいさつを積極的にすることで、あいさつが返ってくることが増えてくる。
- ・学校の教育活動に協力しているボランティア、外部組織の現在の状況はどうなっているのか。
→ 読み聞かせなどに参加していただいている。ミシンや調理実習などにも御協力いただけるとありがたい。
教室に入れない児童をみる sola room という場所をつくる予定である。

- ・学校から必要な人材を募集したり、保護者の経験から協力できる活動を保護者から申し出てもらったりするとよいのではないか。
 - 保護者には、ボランティア募集のお手紙を配付しているので、地域にも募集のお手紙を配布することもよいかもしれない。お手紙を配布したこともあるが、反応はあまりよくなかった。
- ・古紙資源回収などの活動も、活動の目的を地域の方に周知し、実施していくことが大切ではないか。
- ・学校でも、保護者の思いや保護者同士のかかわり方を話し合う場があるとよい。
- ・地域のみinnで、子どもを育てる雰囲気をつくっていくことが大切ではないか。
- ・学校、地域のイベントを定期的実施し、地域を盛り上げていくことが大切ではないか。
- ・感謝の気持ちをもてる子どもたちになってもらいたい。
- ・自治会長が集まり、話し合いをして、いろいろな行事はできないか。
- ・子どもを中心として、大人同士の結びつきをつくっていくのはどうか。

(5) いじめ対策委員会

- ・生徒指導上の課題
- ・具体的な取組内容

6 授業参観